

この内容については、7月2日の授業で簡単に補足説明をします。

今後の授業と補講について

今学期、正規の時間に授業が行われるのは、7月2日、9日の2回です。

これに加え、3回分の補講を7月16日の3時限から5時限に行います。補講の授業は、欠席をしても不利な扱いはしませんし、レポートの内容も、補講に参加しなくてもレポートが書けるような課題を出します。

レポートについて

この科目の評価は、レポートの成績に、出席状況を加味して評価します。したがって、出席状況が芳ばしくないものであっても、レポートが優れていれば、単位が付与されることがあり得ますし、逆に、出席状況がよくても、レポートが貧弱であれば、単位が与えられないこともあり得ます。

以下に示す指示は、厳守してください。以下の指示に従わない場合、大幅に減点することや、レポート未提出として単位を付与しないことがあり得ます。

レポートは

- ・ 必須レポート
- ・ 選択レポート
- ・ 選択レポートに関する感想

から成っています。選択レポートは、課題A～Cのうち1題を選んでください。

レポートの表紙には、学生番号、氏名等とともに、選択レポート課題として選んだA～Cいずれかの記号を明記してください。

必須レポートの分量は概ね800字相当以上、選択レポートの分量は概ね3000字相当以上を期待しています。しかし、内容が充実していれば、これより少ない分量でも構いません。分量の上限は設けません。

さらに、選択レポート本体とは別に、選択レポートに関する感想を、概ね200字～400字程度にまとめてください。これは独立した課題です。

必須レポート、選択レポート、および、選択レポートに関する感想は、ワープロ等を利用して印字するか、インクで清書したものを提出してください。印字する場合は、A4判たて位置の白紙に印字してください。読みやすくなるようレイアウト等に配慮がされていることを前提に、一枚の用紙に印字する字数や、レイアウトは特に制限しません。手書きで清書する場合は、A4判横書きの400字詰原稿用紙を用いてください。

レポート本体と感想は、ステープラー、2穴式フォルダー、綴じ紐、等の適切な方法で「必須レポート→選択レポート→選択レポートに関する感想」の順に綴じて提出してください。

レポートの提出は、7月中の指定された日に、教務課で受け付けられる見込みです。提出受付日については、教務課から公表される情報を必ず確認してください。

なお、万一の事故に備えて、レポートのコピーを手元に控えておいてください。デジタル・データを保存しておくという形でもかまいません。レポート提出後、万一事故があった場合や、成績発表後に成績照会が必要になる場合などには、レポートの再提出を求めることがあります。そのような場合、手元に控えが残っていないと救済措置を受けられない可能性が高いものと理解してください。

万一の際に直接迅速に連絡が取れるように、自分の連絡先となるメールアドレスを事前に通告しておきたい場合は、レポートの末尾（選択レポートに関する感想のページの最後）に、連絡を希望するメールアドレスを書いておいてください。これは、任意であり、義務ではありません。

必須レポート：概ね800字相当以上：

授業を受講し、印象に残った点について感想を述べてください。特に、授業をきっかけに自分で考えた内容や、授業に対して感じた疑問については、できるだけ具体的に述べること。

選択レポート：概ね3000字相当以上：

(A)

まず、東谷護・編(2003)『ポピュラー音楽へのまなざし』勁草書房 所収の論文のうち、1つの章を選び、その執筆者が発表している音楽に関する論文や著作のリスト(書誌を明記した文献表)を作成してください。この部分は字数に入りませんが、必ず選択レポートの最初に置いてください。

その上で、その執筆者による2つ以上の論文や本(『ポピュラー音楽へのまなざし』所収論文を含めてよい)を関連付けながら、その執筆者が行っている研究について自由に論題を設定して自分なりの議論を展開しなさい。単なる研究の紹介ではなく、自分自身の考えを盛り込むこと。

ただし、その執筆者による『ポピュラー音楽へのまなざし』所収論文からの効果的な引用を1カ所以上、必ず織り込んでください。

(B)

「ジャズはポピュラー音楽である」というテーマの章と、「ジャズはポピュラー音楽ではない」というテーマの章を、それぞれ800字程度以上で執筆した上で、それらを踏まえて自由なテーマを設定した章(複数でも良い)で締めくくる議論を展開してください。

当然ながら、必要に応じて授業中に講じた内容や、他の参考文献等を参照し、それらに言及しながら議論を展開することが期待されます。

(C)

ジャズの歴史に関する書籍を1冊以上を選び、トラディショナル・ジャズの時代、および、スウィング・ジャズの時代について(つまりバップ革命以前について)、どのような人名への言及があるか、リストを作成してください。リストに挙げられた人名の記事がウィキペディア日本語版に記事がある

か否かを確認し、記事がある人物には印（例えば、★）をつけて一見して見分けられるようにしてください。この部分は字数に入りませんが、必ず選択レポートの最初に置いてください。

その上で、そのリストの中から、ウィキペディア日本語版に記事がない人物をひとり選び、その人物について、自分が伝記記事を書くとしたら、どのような文献や資料を参照して、どのような方針で書くかを述べた上で、伝記を作成してください。執筆方針を述べる部分と、伝記記事の部分ははっきりと分割して区別がつくようにしてください。

選択レポートに関する感想：概ね200字～400字程度：

課題A～Cの選択理由を説明した上で、レポートを書いた感想を述べてください。

以上、いずれのレポート・感想についても、引用・参照文献（ウェブページを含む）は書誌（URLなど）をきちんと記すこと。

引用範囲や出典を明示せずに他人の文章を切り貼りしてレポートに組み込むのは、盗用であり、剽窃行為です。このような行為が判明した場合は厳格な対応をとります。なお、この点については、**2003年度の音楽史Bのレポート**について述べた見解をご参照ください。

<http://camp.ff.tku.ac.jp/YAMADA-KEN/Y-KEN/ex-files/notice03.html#03AA>

レポートに関する質問は、「青山学院 音楽史A」という表題のメールにして、できるだけ早めに yamada@tku.ac.jp まで送って下さい。

あるいは、ネット上で公開している掲示板「山田晴通の授業、その他」<http://jbbs.livedoor.jp/school/15375/> を利用して質問していただいても結構です。